

2024年1月11日

国立高度専門医療研究センターにおける政策医療上重要な疾患についての 基礎的疫学研究について

当センターでは、以下の臨床研究を実施しております。全国の医療診療情報データを用いた研究です。ご質問がある場合、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】2012年4月1日～2021年10月31日の間に、以下の対象疾患のために医療機関を受診した全国民（薬の処方情報のみ院外処方を漏らさないため2021年11月30日まで）

本研究の対象疾患：

国立高度専門医療研究センターが所管する重要疾患を対象とします。**当センターでは循環器疾患を担当します。**

- ・ がん：胃・肺・大腸・乳・肝、子宮頸がん、子宮体がん
- ・ 循環器疾患：急性心不全、慢性心不全、心筋梗塞、急性冠症候群、大動脈解離、脳梗塞、クモ膜下出血、脳内出血
- ・ 神経筋疾患：代謝性ミオパチー、筋ジストロフィー、運動ニューロン疾患、先天性ミオパチーなど
- ・ 感染症：ヒト免疫不全ウイルス/後天性免疫不全症候群、急性感染症（尿路感染症、肺炎、術後感染症、COVID-19）、C型肝炎、
- ・ 糖尿病：糖尿病合併症の重症化として特に重要な腎不全、人工透析を含む）、成育に関わる疾患・障害としての小児精神・発達障害、認知症等
- ・ 経済協力開発機構で医療の質指標を公表している疾患（上記の他に慢性閉塞性肺疾患、喘息等）で受診された方もしくは各疾患の治療や検査が処方された方

【研究課題名】国立高度専門医療研究センターにおける政策医療上重要な疾患についての基礎的疫学研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 研究所 予防医学・疫学情報部 西村邦宏

【研究の目的】各疾患（対象となる方参照）の有病者数を同定し、加えて罹患率、診療の質、医療費、特定健診結果との関連等について算出する。本研究で有病者数や診療の質、医療費

が明らかになれば、本邦における基礎的なデータとなるため、これらを参考に医療の発展に貢献することが期待されます。

【利用する診療情報】

本研究は、NDB（ナショナルデータベース）のデータを厳正な審査を受けた上で提供を受け、実施するものです。

NDBは厚生労働省が構築したレセプト情報・特定健診等情報データベースであり、国民皆保険制度の日本における保険診療レセプトの全数データです。個人が特定されない形でデータベース化され、研究者に提供されています。

2012年4月1日～2021年10月31日の間に、本研究の対象疾患のために医療機関を受診した全国民の下記の診療情報を用います（薬の処方情報は、2021年11月30日まで）。

患者ID、性別、年齢階層コード、保険者情報、都道府県、医療機関コード、病床数カテゴリー、調剤薬局コード、診療年月、傷病名コード（診療開始日、転帰、修飾語、主傷病フラグ等も含む）、診療行為コード（実施日情報、点数、回数等も含む）、医薬品コード（実施日情報、点数、回数等も含む）

【研究期間】研究許可日より2026年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

この研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り実施されます。使用するデータは、すでに匿名化処理がされた状態で厚生労働省から提供を受けますので、対象者の方の個人情報が漏れることはありません。研究結果は個人が特定できない形式で学会等にて発表されます。収集したデータは国立循環器病研究センターにて厳重な管理のもと保存されます。

また、本研究は将来、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。

ご不明な点があれば、下記の間い合わせ先までお尋ねください。

【研究組織】

国立循環器病研究センター

予防医学・疫学情報部 部長 西村 邦宏

国立国際医療研究センター

国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター センター長 磯 博康

国立がん研究センター

がん対策研究所医療政策部 部長 東 尚弘

国立精神・神経研究センター

トランスレーショナル・メディカルセンター センター長 小牧 宏文

国立成育医療研究センター

研究所政策科学研究部 部長 竹原 健二

国立長寿医療研究センター

老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部 副部長 土井 剛彦

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 研究所 予防医学・疫学情報部

客員研究員 竹上 未紗

非常勤研究員 中塚 清将

電話 06-6170-1070(代表)